

【新連載】

平形分教場 1 加藤貞雄（山王町）

かつて上平形集落の北西の一角に渡前小学



上平形公民館

かつて上平形集落の北西の一角に渡前小学
校平形分教場があった（今は村の集会場になっている）。

当時の面影を宿す松の木や杉林に囲まれたその跡地の碑には、「明治25年9月、郷倉屋敷跡に18坪木造平屋建を東向きに新築、渡前尋常小学校平形分校を創立、尋常小学校1、2年を収容、複式学級を

設立」とある。

以来68年間存続し昭和34年（1959）4

月に廃校となった。

私はこの分教場に昭和14年（1939）4月に入学した。

この分教場には元村の上平形と近くの下平形、新屋敷の3集落から小学校1、2年生が、冬期には3年生も加わ

あしがき

鈴木重雄（八色木・93歳）

山寺には「阿部次郎記念館」がある。大正昭和時代のベストセラ「三太郎の日記」で著名な哲学者、阿部次郎の生家である。

その甥に生物学者で山大学教授の阿部襄先生がいる。私は襄先生の「庄内の四季」を皆さんにお勧めしたい。

今回の連載を書くのに三浦家の当主悟さん（私の従弟）に助言をいただいた。毎週水曜日、郵便ポストに民報がポトンと音がする。出で見ると彼は車で過ぎ去っていく。お礼の一言も言お

うての複式学級で教員が一人、私たちの学年は全部で13人であった。その当時の分教場の様子を80余年前の記憶をたどって記してみる。

☆ ☆ ☆
その校舎の正面玄関から入るとすぐに職員室、といっても8畳間ほどの畳部屋に先生が一人、その部屋の北側の窓からは遠くに神社の森（通称白山さま）、その背景には遙か遠くに鳥海山がそそり立っていた。

職員室を挟んで左に教室、右が体操場（その頃はとても広々として感じて、思いつき走り回ったのだが、校舎の前は運動場、その中に回転ブランコがあり、片側には鉄棒があった。

西側の端は低い土盛りとなっていて数本の

（写真・渡辺文作先生）



上平形公民館の玄関には歴代の教師の写真が掲げられている

（写真）平形分教場の閉校式・昭和34年（1959）3月26日



山旅メモ

北海道・大雪山―トムラウシ 縦走②

「カムイミシタラ(＝神々の遊ぶ庭)」を歩く
ROUSAN 鶴岡会員 梅本幸巳

白雲岳の避難小屋で朝目を覚まし、急いで身支度を済ませて外に出ると、霜柱と氷が張っていた。

ご来光がゆつくりと上り始めて、空はうっすらと赤と青の淡いコントラストを描き出している。

快晴で、視線の先に王冠のようにギザギザとした山が見える、トムラウシだ！



トムラウシの遠望

長大な縦走路、広大な高根ヶ原(距離約8km)、忠別岳、化雲岳、一番奥にトムラウシ山が小さく見える。

大雪山系の標高1700メートル辺りに広がる高根ヶ原。この地をアイヌの人々は「カムイミシタラ(＝神々の遊ぶ庭)」と呼ぶ。

長大な稜線の奥に聳え立つトムラウシ山を見つめ、その長く険しい道のりを歩き始める。

高根ヶ原を歩いていくと、左側の沼周辺一帯はヒグマの巣で、ヒグマ情報センターがあり閉鎖区間もある。

天気は快晴で展望良好。天空の楽園を歩く感じた。

帯を抜けるのだが、獣臭とクマの掘起し(根っこを食べるため)があり、気が抜けない。ましてや、誰一人と会わない。

10年後の2009年7月、10人凍死した大雪山系遭難事故が起こった。

高山や、北海道の山は夏山でも防寒装備を絶対に怠ってはいけない。

※職場を退職して間も無いある夏の日、私は北海道の極一部である道南を自転車であつたことがあつた。

サイクリングロードであつてもいたる所に「ヒグマ注意」という看板があつた。

バイクなら「熊だー」とぶつ飛ばせるが、自転車では「ただ熊よ、寝ていてくれ」とペダルを漕いだ。

そつえば中仙道一人旅の時も「熊に注意」日本中クマ看板林立になつてしまつたら困りものだが。(斎藤留治)

世界の国々

ミャンマー 1

再びクーデター

青山崇

マー・マンダレーで国軍に抗議する人たち(ロイター共同)

2月1日、ミャンマーでクーデターが起き、アウン・サン・スーチー国家顧問やウイン・ミン大統領ら政府首脳ら数十人を拘束、24人の閣僚、次官らを罷免した。

(写真) 4日、ミャン

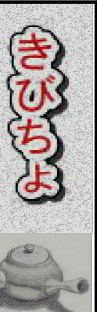


イン国軍総司令が立法・行政・司法の全権を掌握し、1年の非常事態宣言をした。

通信事業者を介してインターネット通信の遮断など、反対勢力の封じ込めを進めている。

クーデターの建前上の理由は、昨年11月の総選挙でのNLDの圧勝は不正選挙だとしている。

一方、ミャンマーの最大都市ヤンゴンでは6日、若者ら数千人がデモ行進を行い、国軍に対して怒りの声をあげた。



ウソはわかるぜ

「陳情を受けに行く」いいじゃないですか。菅首相は、国民の為の政治を掲げているんだから。秘書でなく本人が一人で、しかも忙しい身で夜遅くまで頑張つたんだ。見上げたもんだヨ。と・なる事なんだが、事は議員という首さえ心配に。それが離党で終わりか？

▲陳情とは普通事務所で、持ってきた書類を開いて話を聞きながら受けているんじゃないの？時には札束を書類の下にしなから。元大臣は辞職をしたからと与党では問題にしてないが、事件なんだぜ。

▲一人で行つてきたんだとは、3回目ですと認めただけだ。一年以上ウソをついてきた大物が居たから真似したんでしょうか。今回のウソは、党を挙げて怒っている

与党NLD＝国民民主連盟は5日、国連宛に声明を出し、スーチー氏ら幹部の安全な釈放を求めた。

国連事務総長の特使は、国軍の指導部として初めて接触し、行動を非難した上で拘束者の解放を求めた。

しかしクーデターの背景には複雑な事情がありそうだ。

「スーチー女史」民主化を進める女神、「軍独裁に固執する悪」という単純な図式ではないということだ。

次回に続く。

がサ、前大物のウソはどうしんだヤ。国民が怒っているんだぜ。

▲後輩を庇つて一人で頑張つたナンテ言っているけどサ。わかるよ、女性も一緒だったから隠そうとしたんでシヨ。ウソはわかるんだ。陳情を受けに行つてお酒を飲まなかつたってカ。

お酒を飲んでもらつてナンボの商売だヨ。酒を飲まないで長居をされたら、商売のジャマでしょうヤ。

▲陳情を受けに行つたのだったら、お茶代わりの酒が出るつての。これ日本の常識だろうぜ。店を出るまでタダ酒とはいくまいし、女性も居たからチョット

の酒で終わつたかな。▲行つた店は、首相のお願い(時短)を聞いてくれないお店なんだナ。そんな店が馴染みの店だったりしてカ。して、どげだ陳情だったヤ。党には報告したんか。ン？(石川)